

第 52 回獨医祭実施報告書

獨医祭実行委員会

イベントの概要

イベントの名称	第 52 回獨医祭
メインテーマ	DMU×MED.EXPO
サブテーマ	ひらく、医のミライ 深める、医のリカイ
医学テーマ	みんなが知りたい、未来へ繋がる医療
開催日時	2025 年 10 月 11 日～10 月 13 日
開催場所	獨協医科大学医学部・看護学部・付属看護専門学校



ドクターヘリ見学会

1. 日時・場所

10月11日(土) 8:00~12:00 ヘリポート

2. 内容

学生、一般来場者が救急救命の一端を担うドクターヘリを見学し、救急医療の技術に触れていただきました。整備士の方、ヘリナースの方によるお話の後にドクターヘリに実際に乗っていただいたり、写真撮影を楽しんでいただいたりしました。雨天時での開催でしたが、多くの方にご来場いただきました。



3. 来場者の声

来場者からは、「ドクターヘリを間近で見る機会があってよかった。」といった声が多く寄せられました。家族連れからも「子どもの学びに繋がって良かった」という感想があり、幅広い世代に好評でした。

4. 総括

今回の「ドクターヘリ見学会」は、ドクターヘリを近くで見ることで機体や機能について詳しく知る良い機会となりました。

来場者の満足度は大変高く、来年も是非来たいとおっしゃる方もいらっしゃいました。地元の方だけでなく、県外から来られた方にも満足していただけるよう、来年以降も引き続き努力していきたいと思えます。

医学講演

1. 日時・場所

10月11日(土) 13日(月) 関湊記念ホール

2. 内容

10月11日(土)には、精神医学講座 菅原 典夫 准教授による『「やめたいのに、やめられない」ーギャンブル依存症の理解と回復の道のりー』、10月13日(月)には、獨協医科大学 麻酔科 濱口眞輔 教授による「臨床研修医と病院実習をする医学生への期待-病院関係者でなくても聴いてください-」を講演していただきました。



3. 来場者の声来場者からは、「大変勉強になった」「ギャンブル依存症だけでなくその他の依存についても学ぶことができた」「今後病院に伺う時に研修医や学生の方に協力していきたい」といった声が多く寄せられました。

4. 総括

普段聞く機会のない医療の話を聞いていただく良い機会となりました。また、研修医についてのお話を聞く機会としての一面もあり、受験生や近隣住民の幅広い年代の方に満足していただくことができました。そして、学生、近隣住民の方へのギャンブル依存の啓発に繋がったと思います。次回の医学講演に向けて、今年の良かった点や反省点を生かして引き続き努力していきます。

医学展示・体験

1. 日時・場所

10月11日（土）～13日（月）10:00～16:00 中教室 207 教室

2. 内容

肺聴診・心聴診・高齢者体験・妊婦体験・ポスター発表・人体模型展示を実施し、様々な方にご来場いただきました。

3. 来場者の声来場者からは、「丁寧に学生の方が勉強になることを教えてもらえて良かった」といった声が多く寄せられました。家族連れからも「子どもと一緒に楽しめて良かった」という感想があり、幅広い世代に好評でした。



4. 総括

当初予定していた機械の借用ができなくなってしまい、企画の縮小を行いました。次回のイベント開催に向けて更なる内容の充実や広報活動の強化が求められます。

アイドルライブ(AMEFURASSI)

1. 日時・場所

2025年10月13日（日）13:30～
関湊記念ホール

2. 内容

今年の獨医祭では、注目のゲストとして人気アイドルグループ

「AMEFURASSI」をお招きし、約1時間にわたるライブパフォーマンスを実施しました。

当日は開演前から多くの学生・来場者

が会場前に集まり、ライブ中は終始大きな歓声と拍手が響き渡りました。また、ライブ終了後には物販・特典会も行われ、県内外から訪れたファンの姿も多く見られました。



3. 来場者の声

- ・「大学の学祭で本格的なライブが観られて感動した！」
- ・「AMEFURASSI のパフォーマンスが最高で、また来年も来たい」

といった感想が多く寄せられ、学内外の観客から高い評価をいただきました。

4. 総括

今年のアイドルライブは、学生、地域の方々が一体となって盛り上がる獨医祭の目玉企画となりました。企画・運営に携わった実行委員やスタッフの尽力により、トラブルもなく無事に終了することができました。

お笑いライブ(ガーリィレコード、バイク川崎バイク)

1. 日時・場所

10月12日(日) 13:30~14:00

関湊記念ホール

2. 内容

今年度のアーティストライブではガーリィレコード様とバイク川崎バイク様の2組によるお笑いライブを行いました。学内、学外問わず多くのお客様に来て頂きました。

3. 来場者の声

来場者様からは、「昔テレビで見た芸人が実際に間近で見られて感動した」「芸がとても面白かった」といった声が多く寄せられました。

4. 総括

お笑いライブの企画は、大学祭の一大イベントの一つとしての役割を担うことができました。大きなトラブルもなく、警備や誘導も円滑に行うことができました。全体として、来場者の満足度が高く、大学祭を飾る恒例企画として継続する価値があると感じました。

アーティストライブ(NOA、神はサイコロを振らない)

1. 日時・場所

10月12日(日) 16:30~17:45

体育館アリーナ

2. 内容

大学祭イベントの一環として、体育館にてアーティストライブを行いました。今年度のアーティストライブではNOA様と神はサイコロを振らない様の2組による対バンを行いました。アーティスト接待係および警備係を始めとして、多くの獨医祭スタッフが一丸となって企画を実行しました。

3. 来場者の声

来場者からは、「大好きなアーティストが間近で見られて感動した」「音楽の迫力が凄かった」といった声が多く寄せられました。家族連れからも「子どもと一緒に楽しめて良かった」という感想があり、幅広い世代に好評でした。一方で、「開演の時間がわかりづらい」という意見もありました。



4. 総括

アーティストライブの企画は、大学祭全体の盛り上がり大きく貢献しました。大きなトラブルもなく、警備や誘導も円滑に行うことができました。一方で、当日チケットの購入制度やお客様再入場の動線に課題が見られました。次年度は企画進行の再見直しや、交通誘導員の増員を検討したいと考えます。全体として、来場者の満足度が高く、大学祭を飾る恒例企画として継続する価値があると感じました。

花火

1. 日時・場所

10月11日(土) 19:00~19:15 グラウンド

2. 内容

1日目のメインイベントとして「花火」を行いました。学内の方だけでなく、近隣にお住まいの方や地域の方々もグラウンド内で打ち上がる花火を見ることができます。獨医祭初日の大きなイベントということもあり、花火の時間帯は学内にいた方々も一斉にグラウンドに集まり、多くの人で賑わいました。安全面を最優先とし、事前に消防署への書類提出や近隣住民への周知を行い、実行委員で警備や誘導を務め、事故が起きないように安全管理を徹底しました。

3. 総括

花火の企画は、獨医祭初日を飾る大きなイベントとして、獨医祭全体の盛り上がり大きく貢献しました。今回も、おもちゃのまちトキワ屋(壬生町)のご協力のもと、今年度も心打たれる花火を打ち上げることができました。安全面では、特に大きなトラブルもなく、警備や誘導もスムーズに行うことができました。一方で、観覧エリア周辺の混雑や花火終了後の退場時の動線に課題が見られました。次年度は、観覧エリアへの誘導方法や交通誘導員の増員を検討したいと思います。全体として、来場者の満足度は高く、獨医祭初日を飾る恒例企画として続けていきたいと思いました。



縁日

1 日時・場所

10月11日（土）10：00～16：00

10月12日（日）10：00～15：00

10月13日（月）10：00～14：00

サンルーム

2 内容

地域の方との交流を目的として、サンルームで縁日を行いました。3日間にわたり、輪投げ・ストラックアウト・ヨーヨー釣り・スーパーボール釣りをを行い、地域の方との交流を深めることができました。今回は、ひと店50円で運営しました。来て頂いた方に楽しんでもいただくことを最優先とし、輪投げとストラックアウトでは点数に応じた個数のお菓子を配るなどして、スタッフ一同楽しんでもいただくことを心掛けました。学生や地域住民を含め、約420名が来場しました。



3 来場者の声

来場者からは「ゲームやお菓子がもらえて嬉しかった」「いっぱい遊ぶことができた」という声が多く寄せられました。家族連れからも「子どもと一緒に楽しむことができた」といった感想があり、特に家族連れに好評でした。一方で、「内容が若い子ども向けで、少し物足りなかった」という意見もありました。

4 総括

縁日の企画は、大学祭全体の盛り上げに大きく貢献しました。安全面では大きなトラブルもなく、来場者の接客を行うことができました。一方で、来場者の動線やお菓子のあまりの課題が見られました。次年度は会場レイアウトの改善や景品の個数の見直しを検討したいと考えています。全体として、来場者の満足度が高く、大学祭の盛り上げを支える企画の一つとして継続する価値があると感じました。

文化部展示

1. 日時・場所

10月11日（土） 10:00～16:00

10月12日（日） 10:00～16:00

10月13日（月） 10:00～14:00

2. 内容

獨医祭の中でも特に文化部の活躍の場として「文化部発表・文化部展示」を行いました。文化部発表・文化部展示では、軽音学部によるライブ、管弦楽部・合唱部による発表、書道部・美術部・保健ボランティア部による展示を行いました。また、今年度は初の試みとして地域の書道教室の作品の展示も行いました。軽音ライブは毎年多くの学生で賑わう企画で、今年度も多くの来客で賑わいました。管弦楽部・合唱部の発表では、想定よりたくさんの方に楽しんでいただくことができました。作品展示では、地域の方が多く来場してくださり、展示を楽しんでいただくことができました。今年度は特に、外部の方の作品を展示したため、作品の盗難や紛失、損壊を防ぐために学祭委員で警備を務めました。



3. 総括

文化部発表・文化部展示では、文化部の活動報告や活躍の場として獨医祭全体の集客や盛り上げに貢献しました。どの企画も来場者の方々に満足していただくことができました。特に壬生町の書道教室の作品展示では、地域の方の集客に貢献したと感じています。一方で、管弦楽部・合唱部の発表での観覧の仕方について課題が見られました。今年度は基本立ち見として、座席はバリアフリー用として 10 脚ほど用意しましたが、座席はないのかと尋ねられる方が多かったことから、来年度は座席のある場所を使用する等で対応できればと考えています。

後夜祭

1. 日時・場所

10 月 13 日（月） 14:00～19:00

2. 内容

獨医祭のフィナーレとして「後夜祭」を行いました。後夜祭では、SDA によるダンス発表、お笑い研究会による発表、部活動・有志によるのどじまんを行いました。来場者も多く、どの舞台も盛り上がりしました。また後夜祭は、学生が最も盛り上がる企画の一つなので、来場者や会場内の安全確保に尽力しました。今年度も特に大きなトラブルが発生することなく終えることができました。



3. 総括

後夜祭は、獨医祭の最後を飾る企画として、獨医祭全体の集客や盛り上げに貢献しました。今年度は昨年度に比べて出場団体が多かったため、企画の開催時間が長く、大きな盛り上がりを見せました。今年度は新たな試みとして、各出場団体に出場内容をアピールするポスターを作成していただきました。昨年度以前から後夜祭の内容を学生や来場者に周知することが課題としてありました。今年度はその対策としてポスターの作成を行いまし

た。結果として各団体の内容の周知はできたが、全体の流れ等の周知には未だ課題が残りました。来年度は更なる対策を講じたいと考えています。また、想定より時間がかからず、時間が巻きで終わったので来年度から時間配分等を再度見直したいと考えています。

看護企画

1. 日時・場所

(1)10月11日(土)・12日(日) 「看護体験企画」

看護学部棟・看護専門学校

(2)10月13日(月) 「konomi パン販売」

廣川書店前

2. 内容

看護体験系の企画を運営しました。企画内容としては、AED・心臓マッサージ体験や聴診体験を中心に、手浴体験、手洗い体験、血圧シミュレーション体験、ばい菌の内容を中心としたミニゲームを、看護学部棟と看護専門学校に分けて運営しました。実際に体験として医療に触れることで、看護や自身の健康について興味をもってもらえる機会にできるようにしました。また、学生主体として企画運営することで、来場者・地域の方々との関わりを深めました。

konomi パン販売では、konomi で生産しているパンの販売を通して、就労支援事業所についてと、障がいを持った方々への支援についてを来場者・地域の方々に知ってもらう機会にしました。

3.来場者の声

来場者からは、「説明だけでなく、体験ができて勉強になった」といった声が多く寄せられました。家族連れからも「子どもが体験できそうなものがあって、よかった」という感想があり、幅広い世代に好評でした。一方で、「廊下に人が少なく、入りづらかった」「場所がわかりづらかった」「時間が短い」という意見もありました。

konomi パン販売では、「こんな施設があるのね」と、興味を持ってくださる方々が多く見られました。

4.総括

看護企画は、大学祭全体の盛り上がりにも貢献したと考えます。安全面では大きなトラブルもなく、運営を円滑に行うことができました。一方で、運営時間や人員配置、案内方法に課題が見られました。次年度は会場案内方法の改善や、人員配置の数や場所、企画運営時間の見直しを検討したいと考えます。



模擬店企画

1. 日時・場所

令和7年10月11日(土)～13日(月)

本学中庭にて開催

2. 内容

本年度の模擬店企画は、学生主体のもと大学中庭を会場として実施いたしました。

初日の11日はあいにくの雨天となりましたが、安全面に配慮しつつ予定どおり開催し、多くの来場者に足を運んでいただきました。12日・13日には天候も回復し、終日にわたり賑わいを見せました。

学生各団体は、オリジナリティあふれるメニューや装飾を工夫し、模擬店ならではの活気ある雰囲気を出しました。準備から当日の運営、片付けに至るまで、学生が互いに連携しながら主体的に取り組み、運営力・協調性を磨く良い機会となりました。

また、衛生管理・安全対策にも十分配慮し、火気の扱いや調理環境の確認、などを事前に明文化のうえ運営を行いました。地域住民や卒業生、保護者の来場も多く、模擬店を通して交流の輪が広がり、地域に根ざした学園祭づくりの一助となりました。



3. 来場者の声

来場者からは、「学生の明るい接客に元気をもらえた」「雨の日でも運営を続けていて感心した」「学生の努力が伝わってきた」といった温かい反応も寄せられ、模擬店が学内外の架け橋として大きな役割を果たしました。

4. 総括

模擬店企画は、学生の主体性・協働性・社会性を育む教育的意義を持つとともに、地域社会との交流を深める貴重な取り組みとなりました。

天候に左右される環境下でも、学生たちは臨機応変に対応し、最後まで責任を持って運営を遂行しました。

これらの取り組みは、ご協賛企業の皆さまの温かいご支援によって支えられたものです。備品整備や環境整備の充実など、多くの場面でご協力を活かすことができました。

改めて心より感謝申し上げます。今後も本企画を通して、より良い学園祭の実現と地域とのつながりの深化を目指してまいります。

バザー

1. 日時・場所

2025年10月12日（日） 10:00～16:00

場所：廣川書店前

2. 内容

大学祭の一企画として、同窓会様からご提供いただいた品物を販売するバザーを開催しました。食器・雑貨・衣類・書籍など多岐にわたる品が並び、学生・教職員・地域住民の交流の場として賑わいました。準備段階で

は、品物の仕分けや価格設定、会場設営を学生実行委員が中心となっており、安全で円滑な運営を心がけました。例年同様、販売開始前からお客さんが集まり、午前中には品物の多くが売れました。午後はあまり人が集まらなかった印象です。

3. 来場者の声

来場者からは、「掘り出し物が多くて楽しかった」「今年も楽しみにしていました」といった好評の声が寄せられました。一方で、「箱に入っていて商品が見えにくいな」などの声も聞かれました。

4. 総括

バザー企画は、地域住民の方との交流の場として大きな意義がありました。大きなトラブルもなく、賑やかな雰囲気の中で実施できました。課題としては、品物の並べ方や企画開始前のお客さんへの注意喚起が挙げられます。次年度は、品物の分類・展示方法を工夫し、より多くの来場者が楽しめる運営を目指したいと考えます。また、トラブル防止・商品の盗難防止のため、スタッフ間でのお客さんへの注意喚起を徹底していきたいです。地域の方々への事前の周知も課題として挙げられます。全体として、参加者の満足度が高く、今後も継続して実施する価値のある企画となりました。

獨医祭ライブ(軽音楽部)

1. 日時・場所

日時：2025年10月11日(土)、12日(日) 9:00～17:00

120 教室

2. 内容

軽音楽部の部員が各自様々なカバーバンドやオリジナルバンドを組み来場者に多くの演奏をお届けしました。

3. 来場者の声

来場者の中には、毎年輕音ライブを楽しみにして来る方がいました。他にも初めて来場していただいた方には、好きなアーティストのカバーバンドを目標に訪れて、バンドの雰囲気を楽しんでいる方もいました。



4. 総括

毎年行われている、軽音楽部のライブですが、今年度も友人の活躍を応援するために来場したり、盛り上がる雰囲気を楽しむために来場したりと、学生やそれ以外の方々にとって思い出に残るようなイベントとなりました。

文庫&カフェむつみ

1. 日時・場所

10月11日（土） 10:00～12:00

206教室

2. 内容

壬生町の六美地区で活動している地域カフェ「文庫&カフェむつみ」を獨医祭に出店しました。コーヒーやお茶、お菓子などの提供だけでなく、希望者には看護師による健康相談も行い、2時間という限られた時間で70人を超える方々に来ていただきました。子供からお年寄りまで多くの方々が、カフェスタッフのあたたかいおもてなしと、気軽なおしゃべりを楽しんでいました。



3. 来場者の声

幅広い世代の方々に来ていただき、「気軽に休めるところがあってよかった。」「こんなカフェが地域にあるなんて知らなかった。」「コーヒーがおいしい」などの感想をいただきました。

4. 総括

「文庫&カフェむつみ」は、地域住民同士のつながりの場の提供を目的に、住民の方々によって運営されている地域カフェです。獨医祭での出店は昨年に引き続き2回目でしたが、準備から運営まで特にトラブルなく終了することができました。来場者が立て込んだ時には待ち時間が少し発生することもありましたが、その時間もカフェスタッフと交流するなどして、みなさん楽しくすごしていました。他の地域の方や地域カフェを知らない若い世代の方々にも来ていただいたことで、幅広く活動を知っていただく機会となりました。

SDH すごろく体験会

1. 日時・場所

10月12日（日） 10:00～13:00

202教室

2. 内容

はじめに、パワーポイントを用いてSDHについて図や具体例を交えながら説明を行いました。説明の後は、私たちが作成した「SDH すごろく」を参加者の皆さんに体験してもらいました。小さなお子さんから高齢の方まで、幅広い世代の方々にご参加いただきました。本活動は中学生を対象とした研究であるため、中学生のみを対象に、すごろく体験の前後で2回のアンケートを実施しました。

3. 来場者の声

SDHについて学ぶことができた。健康には環境が大切だとわかった。医大生と一緒に学べるすごろくは貴重な機会だった。子どもとコミュニケーションをとる良いきっかけになった。小さい子どもでも読めるように、ふりがなをふってほしい。

4. 総括

大きなトラブルもなく、無事に終えることができました。一方で、来場者数が予想より多く、人員に対して対応が十分でなかったため、スムーズな誘導が難しい場面もありました。今後はこの点を改善していきたいと考えています。すごろくを通じて、仮の人生を体験することで「健康は個人の責任だけでなく、環境や社会の仕組みにも影響される」ということを学んでもらえたと思います。今回の体験が、自分自身の人生や健康をより良くしていくきっかけになれば幸いです。

その他

壬生町企画、つぼみの会映画上映、管弦・合唱部演奏会

委員長挨拶

この度は、第 52 回獨協医科大学大学祭「獨医祭」を無事に開催し、盛会のうちに終了できましたことを大変嬉しく思います。当初は開催日に台風直撃の予報もありましたが、雨天は初日のみで、残り 2 日間は晴天の中実施することができました。

本年度は、昨年以上に多くの企業様、同窓会様、同窓会各支部様、アストラ獨協様、そして大学祭 OB・OG の皆様より多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

今年度は新たな取り組みとして、壬生町様とのタイアップを実施いたしました。壬生町様のご協力もあり、例年以上に多くの町民の方々にご来場いただくことができました。コロナ禍以降、地域医療に貢献している獨協医科大学でありながら、大学祭の存在が壬生町の皆様に十分認知されていないというもどかしさを私自身感じておりましたが、今回、獨医祭をより多くの町民の皆様に知っていただけたことを大変嬉しく思っております。

私事ではございますが、第 51 回・第 52 回獨医祭の実行委員長を務めさせていただきました。この 2 年間で、獨医祭を一回り大きく成長させることができたと感じております。私が理想としていた全てを形にできたわけではありませんが、今後の獨医祭を創り上げていく後輩たちに向けた指針を示すことはできたのではないかと考えております。委員長として、多くの方々・団体の皆様と関わらせていただく中で、数えきれないほどの学びと成長の機会をいただきました。これは、実行委員長という大役を任せていただけたからこそその経験であり、学生生活における大きな財産となりました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

最後になりますが、第 52 回獨医祭が盛会のうちに終了できましたのは、ご支援・ご理解を賜りました皆様のお力添えの賜物です。本当にありがとうございました。今後とも、獨医祭実行委員会への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

問い合わせ

獨協医科大学 獨医祭実行委員会

MAIL: dokuisai1974@gmail.com

TEL: 0282-86-1140 (平日 17 時～19 時)

